

戦場のピアニスト (The Pianist)

観賞日 2021年2月22日

【概要】

製作 2002年 独、仏他 上映時間 148分
原作 クワディスワフ・シュピルマン
脚本 ロナルド・ハーウッド、ロマン・ポランスキー
監督 ロマン・ポランスキー
音楽 ヴォイチェフ・キラール
出演 エイドリアン・ブロディ (クワディスワフ・シュピルマン)
トーマス・クレッチマン (ヴィルム・ホーゼンフェルト陸軍大尉)
エミリア・フォックス (ドロタ)



【あらすじ】

1939年、ポーランドの首都ワルシャワ。ドイツ軍による空爆。ピアニストとして名を成していたユダヤ人のクワディスワフ・シュピルマンはポーランド人の娘ドロタと知り合う。戦争の長期化に伴い、ナチスによるユダヤ人迫害が強化される。ユダヤ人居住区への強制移住からさらには強制収容所への移住が行われる。収容所行きを免れたシュピルマンは家族と別れユダヤ人居住区の外に出る。ユダヤ人でも若く体力のある者は建設労働に従事。その裏で秘密に進められる抵抗運動。居住区に潜む抵抗軍が反撃するがドイツ軍に鎮圧される。シュピルマンも身を隠していた場所が見つかりドロタの家に逃げ込む。やがて、戦況は連合国側優勢となりワルシャワ市内でもポーランド人が蜂起しドイツ軍も応戦。廃墟の中を逃げまどうシュピルマンはドイツ軍のホーゼンフェルト大尉に見つかりピアノ演奏を命じられる。シュピルマンの演奏を聞いた大尉は食料と防寒服を与え、シュピルマンは終戦を迎える。

実在した名ピアニストであるシュピルマンの体験記を基に、自らも同様の体験をしたポランスキーが描いたホロコーストの世界。

【解説】

■ポイント

●ロマン・ポランスキー (1933年～)

- ・パリで生まれた後、3歳でポーランドのクラクフに引っ越す。第二次大戦時、母親はアウシュビッツで虐殺、父親は強制労働、本人も各地を転々と逃亡。
- ・戦後、1962年に「水の中のナイフ」で監督デビュー。「吸血鬼」(1967年)に出演したシャロン・テート(写真)と結婚したが、テートは翌年カルト教団により惨殺される(シャロン・テート事件)
- ・事件後の憔悴期を経て「チャイナタウン」(1974年)で復活したが、1977年子役モデルに対する性的行為で有罪判決を受け国外脱出。
- ・本作でアカデミー賞監督賞を受賞するが、逮捕の可能性があるため授賞式には欠席している。



●受賞

- ・アカデミー賞：7部門にノミネートされ、監督賞、脚色賞、主演男優賞を受賞
- ・カンヌ映画祭：最高の賞であるパルムドールを受賞



■見どころ

●「シンドラーのリスト」と並ぶホロコースト映画の代表的作品

前者がシンドラーというドイツ人の視点から描いているのに対し、本作はユダヤ人であるポランスキーが歴史的悲劇を生々しく描いている。